変額保険（終身型・有期型）

New アセットチョイス
2022年度 特別勘定の現況

●投資環境（2022年度）

日本株式市場

当年度の国内株式市場は前年度末対比小幅に上昇しました。年度前半、新型コロナウイルスに対する行動規制の緩和によって経済活動が徐々に再開されたことや、大幅な円安進行に伴う企業業績拡大への期待などがプラス要因となった一方、欧米中央銀行の金融引き締め強化による景気後退リスクなどがマイナス要因となり、国内株式市場はボックス圏で推移しました。2022年12月に日銀による金融緩和政策の変更（事実上の利上げ）が行われたことにより円高・株安が進んだものの、2023年1月の日銀金融政策決定会合では政策変更が見送られたことや、東証がPBR（株価純資産倍率）1倍割れの企業に対して企業価値改善策の開示を求める方針を示したことが材料視されて、国内株式市場は3月上旬に年度中の高値を付けました。その後、米国やスイスの金融機関の信用不安から国内株式市場は下落に転じましたが、前年度末対比小幅に上昇して当年度を終えました。

外国株式市場

当年度の外国株式市場は下落しました。年度前半は、中国で新型コロナウイルス対策としてロックダウン（都市封鎖）が拡大されるとの懸念が高まったことや、世界的にインフレ圧力が強まるなか、FRB（米連邦準備制度理事会）による積極的な利上げへの懸念が高まり、外国株式市場は下落しました。年度後半は、インフレ率が鈍化するなか、FRBによる積極的な利上げ継続観測が後退したことを受けて、外国株式市場は上昇基調に転じましたが、年度末にかけては米国の地方銀行の破綻やスイスの大手金融機関の信用不安の高まりなどから下落し、前年度末対比でも下落して当年度を終えました。

日本債券市場

当年度、10年国債利回りは上昇しました。年度前半、インフレ指標の高止まりを背景に、欧米の主要中央銀行が政策金利の大幅な利上げを継続したことによる世界的な国債利回りの上昇を受けて、10年国債利回りは日銀が設定した長期金利の変動許容幅の上限に近い0.22-0.25%の狭いレンジ内で推移しました。年度後半、日銀金融政策決定会合で長期金利の変動許容幅を±0.25%程度から±0.50%程度に拡大することが発表されると、10年国債利回りは0.5%程度まで急上昇する展開となりました。年度末にかけては、米国での銀行破綻をきっかけとした金融システム不安を背景に10年国債利回りは0.25%程度まで低下しましたが、年度を通しては上昇しました。

外国債券市場

当年度、米国債利回りは上昇しました。年度前半、世界的にインフレの高止まりが懸念されるなか、FRBが2022年3月の会合で政策金利の引き上げに踏み切り、その後も大幅な利上げを継続したことで、米国債利回りは上昇基調で推移しました。年度後半は、雇用統計やCPI（消費者物価指数）に落ち着きが見られ、FRBによる金融引き締め長期化への懸念が後退したことから、米国債利回りは低下基調に転じました。年度末にかけては、雇用・物価指標が堅調となった一方、米国の銀行破綻を受けた欧米の金融システム不安の高まりから米国債利回りは大きく低下しましたが、前年度末対比では上昇して当年度を終えました。
当年度、ドイツ国債利回りは上昇しました。資源価格の高騰などを背景としたインフレが高進するなか、2022年7月のECB（欧州中央銀行）会合で0.5%の利上げに踏み切り、その後も利上げを継続する姿勢を示したことから、ドイツ国債利回りは上昇基調で当年度を終えました。

外国為替市場

米ドル円為替レートは、年度前半は米国のインフレ率の高まりや金融政策正常化を急ぐ姿勢を受けて米国債利回りが上昇し、日本と米国の金利差拡大を背景に円安米ドル高となりました。年度後半は、FRBによる利上げ継続への懸念が後退したことや、日銀が10年国債利回りの変動許容幅を拡大したことなどを背景に円高米ドル安が進行しましたが、前年度末対比では円安米ドル高の水準で当年度を終えました。
ユーロ円為替レートは、インフレ率の高止まりやECBによる金融政策正常化に向けた動きを背景に円安ユーロ高基調で推移しました。米国CPIが事前予想を下回ったことを受けて世界的に利上げ継続懸念が後退し円高ユーロ安となる局面もありましたが、ユーロ圏の景気が底堅いことを受けたECB高官による金融引き締めに積極的な発言を背景に円安ユーロ高が進行し、前年度末対比円安ユーロ高の水準で当年度を終えました。

●運用実績の推移および運用方針

①当期の運用実績の推移	各特別勘定の運用状況をご参照ください。
②当期の運用方針	当社は、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。
③今後の運用方針	当社は、今後とも、各特別勘定の運用方針および管理運営方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。

当社は2022年度決算（決算日：2023年3月31日）を行いました。当資料は2022年度の運用状況をご報告するものです。
4ページ以降は特別勘定レポート（2023年3月末現在）からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認いただけます。

●特別勘定資産の内訳（2022年度末）

（単位：百万円）

区分	金額					
	世界株式型	世界株式型Ⅱ	日本株式型成長株	日本株式型小型株	日本株式型	欧州株式型
現預金・コールローン	276	123	67	4	110	10
有価証券	15,801	14,824	14,673	4,058	8,913	3,140
公社債	−	−	−	−	−	−
株式	−	−	−	−	−	−
外国証券	−	−	−	−	−	3,140
公社債	−	−	−	−	−	−
株式等	−	−	−	−	−	3,140
その他の証券	15,801	14,824	14,673	4,058	8,913	−
貸付金	−	−	−	−	−	−
その他	305	−	−	−	−	−
貸倒引当金	−	−	−	−	−	−
合計	16,383	14,948	14,741	4,063	9,023	3,150

※単位未満切捨て

（単位：百万円）

区分	金額				
	米国株式型	グローバル・バランス型	世界債券型	米国債券型	金融市場型
現預金・コールローン	27	10	30	39	1,501
有価証券	7,255	2,177	3,586	2,532	−
公社債	−	−	−	−	−
株式	−	−	−	−	−
外国証券	7,255	−	−	2,532	−
公社債	−	−	−	−	−
株式等	7,255	−	−	2,532	−
その他の証券	−	2,177	3,586	−	−
貸付金	−	−	−	−	−
その他	−	2	4	1	−
貸倒引当金	−	−	−	−	−
合計	7,283	2,190	3,622	2,572	1,501

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況（2022年度）

（単位：百万円）

区分	金額					
	世界株式型	世界株式型Ⅱ	日本株式型成長株	日本株式型小型株	日本株式型	欧州株式型
利息配当金等収入	2,377	153	274	62	251	−
有価証券売却益	−	−	−	−	−	1,525
有価証券償還益	−	−	−	−	−	−
有価証券評価益	10,435	9,855	9,794	2,272	5,347	212
為替差益	−	−	−	−	−	−
金融派生商品収益	369	−	−	−	−	−
その他の収益	−	−	−	−	−	19
有価証券売却損	−	−	−	−	−	−
有価証券償還損	−	−	−	−	−	−
有価証券評価損	12,716	9,798	9,990	2,443	5,537	1,458
為替差損	−	−	−	−	−	−
金融派生商品費用	2,451	−	−	−	−	−
その他の費用及び損失	−	−	−	−	−	−
収支差額	−1,986	209	78	−107	61	298

※単位未満切捨て

（単位：百万円）

区分	金額				
	米国株式型	グローバル・バランス型	世界債券型	米国債券型	金融市場型
利息配当金等収入	−	19	4	−	−
有価証券売却益	81	−	−	18	−
有価証券償還益	−	−	−	−	−
有価証券評価益	4,948	547	311	427	−
為替差益	−	−	−	−	−
金融派生商品収益	−	−	−	−	−
その他の収益	60	−	−	−	−
有価証券売却損	−	−	−	−	−
有価証券償還損	−	−	−	−	−
有価証券評価損	5,283	737	716	378	−
為替差損	−	−	−	−	−
金融派生商品費用	−	−	−	−	−
その他の費用及び損失	−	−	−	−	−
収支差額	−192	−169	−399	66	−

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況（2022年度）

（単位：千口、千円）

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
世界株式型	キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1＊1	19,647	50,000	1,476,216	1,308,035
世界株式型Ⅱ	キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1＊1	－	－	88,728	77,883
日本株式型成長株	フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3＊1	－	－	144,779	151,206
日本株式型小型株	フィデリティ・日本小型株・ファンドVA3＊1	－	－	43,058	56,919
日本株式型	株式インデックス225	72,186	72,814	269,307	109,415
欧州株式型	Merian European Equity Fund	103	15,008	19,420	1,489,092
	Jupiter European Growth＊2	361	2,927,911	－	－
米国株式型	Jupiter Merian North American Equity Fund（IRL）	29	156,017	21	36,179
グローバル・バランス型	ダ・ヴィンチVA	19,298	32,000	48,383	60,309
世界債券型	JDF ワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）	－	－	51,011	54,163
米国債券型	Janus Henderson Flexible Income Fund	31	52,022	69	91,667
金融市場型	―	－	－	－	－

※単位未満切捨て
＊1　適格機関投資家専用
＊2　2022年12月5日付で投資対象となる投資信託が変更となりました。詳細については、当資料の該当ページをご参照ください。

●保有契約高（2022年度末）

（単位：件、百万円）

項目		件数	金額
変額保険（有期型）	Newアセットチョイス	212	1,225
変額保険（終身型）		25,616	218,688

※単位未満切捨て

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	銘柄	運用会社	資産運用関係費用（年率）＊1
世界株式型	キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1＊2	キャピタル・インターナショナル	0.77%（税込）程度
世界株式型Ⅱ	キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1＊2	キャピタル・インターナショナル	0.77%（税込）程度
日本株式型成長株	フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3＊2	フィデリティ投信	0.968%（税込）程度
日本株式型小型株	フィデリティ・日本小型株・ファンドVA3＊2	フィデリティ投信	1.078%（税込）程度
日本株式型	株式インデックス225	野村アセットマネジメント	0.682%（税込）程度
欧州株式型	Jupiter European Growth＊3	投資顧問：Jupiter Asset Management Limited＊3	0.91%程度＊3
米国株式型	Jupiter Merian North American Equity Fund（IRL）	投資顧問：Jupiter Investment Management Limited	1.5%以内
グローバル・バランス型	ダ・ヴィンチVA	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	0.99%（税込）程度
世界債券型	JDF ワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）	ブラックロック・ジャパン	0.858%（税込）程度
米国債券型	Janus Henderson Flexible Income Fund	投資顧問：Janus Henderson Investors US LLC	0.55%程度
金融市場型	特に定めません	特に定めません	－

＊1　資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。
したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。
＊2　適格機関投資家専用
＊3　2022年12月5日付で投資対象となる投資信託が変更となりました。詳細については、当資料の該当ページをご参照ください。

世界株式型（2023年3月末現在）

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】1996年11月1日
【資産分類】世界株式
【運用方針】
日本を含む世界主要国の株式に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。
原則として、為替ヘッジを行い、円ベースでの安定的な収益を追求します。*
＊為替ヘッジは、東京海上日動あんしん生命にて実施します。
【投資対象となる投資信託】
キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1

■特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：百万円）

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	276	1.7%
有価証券等		
キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1	15,891	98.3%
その他	－	－
資産合計	16,167	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	16,167	100.0%

■ユニットプライスの推移

	ユニットプライス	前月比
2020年 3月31日	200.36	－
2022年 3月31日	313.10	5.88%
4月30日	280.47	－10.42%
5月31日	284.23	1.34%
6月30日	265.02	－6.76%
7月31日	278.69	5.16%
8月31日	269.79	－3.20%
9月30日	245.79	－8.90%
10月31日	252.67	2.80%
11月30日	272.23	7.74%
12月31日	269.90	－0.85%
2023年 1月31日	282.59	4.70%
2月28日	275.60	－2.47%
3月31日	279.01	1.24%
3ヶ月変化率		3.37%
6ヶ月変化率		13.52%
1年変化率		－10.89%
3年変化率		39.25%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1（適格機関投資家専用）の基本情報

【運用会社】キャピタル・インターナショナル
【運用対象】日本を含む世界主要国の株式など
【ベンチマーク】MSCI-World Index

運用状況

■国別・地域別内訳※（2023.3末現在）

国名	ベンチマーク構成比	ポートフォリオ構成比	ポートフォリオ銘柄数
北米	71.3%	47.0%	99
アメリカ	68.0%	45.6%	93
カナダ	3.3%	1.3%	6
欧州・中近東	19.1%	34.6%	53
イギリス	4.2%	6.0%	10
フランス	3.6%	11.4%	15
スイス	2.9%	3.5%	9
ドイツ	2.5%	1.5%	2
オランダ	1.3%	3.1%	3
ノルウェー	0.2%	0.6%	1
その他	4.4%	8.4%	13
アジア・オセアニア	9.6%	10.0%	23
日本	6.2%	6.6%	16
香港	0.8%	1.9%	4
その他	2.6%	1.5%	3
その他地域	－%	3.7%	8
キャッシュ他	－%	4.8%	－
合計	100.0%	100.0%	183

■業種別内訳※（2023.3末現在）

業種	ベンチマーク構成比	ポートフォリオ構成比
情報技術	22.7%	17.7%
ヘルスケア	13.3%	15.7%
金融	13.0%	14.2%
資本財・サービス	10.7%	12.9%
生活必需品	7.6%	9.3%
一般消費財・サービス	10.8%	8.0%
コミュニケーション・サービス	6.9%	5.3%
素材	4.4%	4.7%
エネルギー	5.0%	4.1%
公益事業	3.0%	2.5%
不動産	2.5%	0.8%
キャッシュ他	－%	4.8%
合計	100.0%	100.0%

■組入上位10銘柄※（2023.3末現在）

	銘柄名	国名	業種	構成比
1	ノボ　ノルディスク	デンマーク	ヘルスケア	2.7%
2	マイクロソフト	アメリカ	情報技術	2.6%
3	ASMLホールディング	オランダ	情報技術	2.2%
4	ブロードコム	アメリカ	情報技術	2.2%
5	アストラゼネカ	イギリス	ヘルスケア	2.0%
6	アルファベット	アメリカ	コミュニケーション・サービス	1.9%
7	アップル	アメリカ	情報技術	1.8%
8	サフラン	フランス	資本財・サービス	1.7%
9	ユナイテッドヘルス・グループ	アメリカ	ヘルスケア	1.4%
10	AIAグループ	香港	金融	1.3%

※構成比は投資対象となる投資信託の時価総額に対する割合

【運用会社による投資信託へのコメント】（2023.3末現在）
2023年3月の世界の株式市場は、現地通貨ベースが上昇した一方、円ベースは下落しました。米国株式市場（現地通貨ベース）は、前半は複数の地銀の破綻を契機に金融システム不安が高まったことから、大幅に下落しました。後半には金融当局の迅速な対応により不安が和らいだことで市場は落ち着きを取り戻し、長期金利の低下も支えとなって上昇しました。欧州株式市場（同）は、スイス金融大手の経営不安が広がるなかで一時急落しましたが、過度な警戒感の後退にともない下げ幅を縮小しました。セクター別（同）では、情報技術やコミュニケーション・サービスなどが上昇した一方、金融や不動産などは下落しました。
当ファンドでは、キャピタル・インターナショナル・ファンド・グローバル・エクイティ・マザーファンドを通じてキャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド（LUX）に投資を行った結果、当月の基準価額騰落率は－0.36%となりました。キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド（LUX）における運用に関しては、セクター別では金融やヘルスケアにおける銘柄選択、国別では日本の銘柄選択などがプラス要因となりました。一方、セクター別では情報技術における銘柄選択、国別では米国の銘柄選択などはマイナス要因となりました。

・当資料は、Newアセットチョイス（変額保険（終身型・有期型））の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・Newアセットチョイス（変額保険（終身型・有期型））は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

世界株式型Ⅱ （2023年3月末現在）

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】1998年12月1日
【資産分類】世界株式
【運用方針】
日本を含む世界主要国の株式に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。
原則として、為替ヘッジを行いません。
【投資対象となる投資信託】
キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1

■ユニットプライスの推移

	ユニットプライス	前月比
2020年 3月31日	212.25	―
2022年 3月31日	370.76	10.98%
4月30日	351.16	−5.29%
5月31日	354.40	0.92%
6月30日	352.19	−0.62%
7月31日	364.94	3.62%
8月31日	364.61	−0.09%
9月30日	348.98	−4.29%
10月31日	366.71	5.08%
11月30日	372.91	1.69%
12月31日	356.14	−4.50%
2023年 1月31日	369.21	3.67%
2月28日	375.78	1.78%
3月31日	375.30	−0.13%
3ヶ月変化率		5.38%
6ヶ月変化率		7.54%
1年変化率		1.22%
3年変化率		76.82%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：百万円）

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	123	0.8%
有価証券等		
キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1	14,824	99.2%
その他	―	―
資産合計	14,948	100.0%
負債合計	―	―
純資産総額	14,948	100.0%

投資対象となる投資信託について

キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1（適格機関投資家専用）の基本情報

【運用会社】キャピタル・インターナショナル
【運用対象】日本を含む世界主要国の株式など
【ベンチマーク】MSCI-World Index

運用状況

■国別・地域別内訳※ （2023.3末現在）

国名	ベンチマーク構成比	ポートフォリオ構成比	ポートフォリオ銘柄数
北米	71.3%	47.0%	99
アメリカ	68.0%	45.6%	93
カナダ	3.3%	1.3%	6
欧州・中近東	19.1%	34.6%	53
イギリス	4.2%	6.0%	10
フランス	3.6%	11.4%	15
スイス	2.9%	3.5%	9
ドイツ	2.5%	1.5%	2
オランダ	1.3%	3.1%	3
ノルウェー	0.2%	0.6%	1
その他	4.4%	8.4%	13
アジア・オセアニア	9.6%	10.0%	23
日本	6.2%	6.6%	16
香港	0.8%	1.9%	4
その他	2.6%	1.5%	3
その他地域	―%	3.7%	8
キャッシュ他	―%	4.8%	―
合計	100.0%	100.0%	183

■業種別内訳※（2023.3末現在）

業種	ベンチマーク構成比	ポートフォリオ構成比
情報技術	22.7%	17.7%
ヘルスケア	13.3%	15.7%
金融	13.0%	14.2%
資本財・サービス	10.7%	12.9%
生活必需品	7.6%	9.3%
一般消費財・サービス	10.8%	8.0%
コミュニケーション・サービス	6.9%	5.3%
素材	4.4%	4.7%
エネルギー	5.0%	4.1%
公益事業	3.0%	2.5%
不動産	2.5%	0.8%
キャッシュ他	―%	4.8%
合計	100.0%	100.0%

■組入上位10銘柄※ （2023.3末現在）

	銘柄名	国名	業種	構成比
1	ノボ　ノルディスク	デンマーク	ヘルスケア	2.7%
2	マイクロソフト	アメリカ	情報技術	2.6%
3	ASMLホールディング	オランダ	情報技術	2.2%
4	ブロードコム	アメリカ	情報技術	2.2%
5	アストラゼネカ	イギリス	ヘルスケア	2.0%
6	アルファベット	アメリカ	コミュニケーション・サービス	1.9%
7	アップル	アメリカ	情報技術	1.8%
8	サフラン	フランス	資本財・サービス	1.7%
9	ユナイテッドヘルス・グループ	アメリカ	ヘルスケア	1.4%
10	AIAグループ	香港	金融	1.3%

※構成比は投資対象となる投資信託の時価総額に対する割合

【運用会社による投資信託へのコメント】（2023.3末現在）
2023年3月の世界の株式市場は、現地通貨ベースが上昇した一方、円ベースは下落しました。米国株式市場（現地通貨ベース）は、前半は複数の地銀の破綻を契機に金融システム不安が高まったことから、大幅に下落しました。後半には金融当局の迅速な対応により不安が和らいだことで市場は落ち着きを取り戻し、長期金利の低下も支えとなって上昇しました。欧州株式市場（同）は、スイス金融大手の経営不安が広がるなかで一時急落しましたが、過度な警戒感の後退にともない下げ幅を縮小しました。セクター別（同）では、情報技術やコミュニケーション・サービスなどが上昇した一方、金融や不動産などは下落しました。
当ファンドでは、キャピタル・インターナショナル・ファンド・グローバル・エクイティ・マザーファンドを通じてキャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド（LUX）に投資を行った結果、当月の基準価額騰落率は−0.36%となりました。キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド（LUX）における運用に関しては、セクター別では金融やヘルスケアにおける銘柄選択、国別では日本の銘柄選択などがプラス要因となりました。一方、セクター別では情報技術における銘柄選択、国別では米国の銘柄選択などはマイナス要因となりました。

・当資料は、Newアセットチョイス（変額保険（終身型・有期型））の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・Newアセットチョイス（変額保険（終身型・有期型））は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

日本株式型成長株（2023年3月末現在）

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】1999年11月1日
【資産分類】日本株式
【運用方針】
日本の株式の中で、将来高い成長が期待できる銘柄を厳選して分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。
【投資対象となる投資信託】
フィデリティ・日本成長株・ファンドVA３

■特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：百万円）

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	67	0.5%
有価証券等 フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3	14,673	99.5%
その他	－	－
資産合計	14,741	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	14,741	100.0%

■ユニットプライスの推移

	ユニットプライス	前月比
2020年 3月31日	131.92	－
2022年 3月31日	198.23	5.13%
4月30日	183.81	−7.27%
5月31日	187.28	1.89%
6月30日	184.61	−1.43%
7月31日	192.59	4.32%
8月31日	195.05	1.28%
9月30日	187.13	−4.06%
10月31日	191.53	2.35%
11月30日	202.14	5.54%
12月31日	185.99	−7.99%
2023年 1月31日	195.99	5.38%
2月28日	194.81	−0.60%
3月31日	199.06	2.18%
3ヶ月変化率		7.03%
6ヶ月変化率		6.37%
1年変化率		0.42%
3年変化率		50.90%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

フィデリティ・日本成長株・ファンドVA３（適格機関投資家専用）の基本情報

【運用会社】フィデリティ投信
【運用対象】日本株式
【ベンチマーク】TOPIX（配当金込）

運用状況

■市場別構成比（2023.3末現在）

市場	構成比
東証プライム	95.2%
東証スタンダード	1.7%
東証グロース	0.6%
その他市場	－
現金･その他	2.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■上位5業種構成比（2023.3末現在）

	業種	構成比
1	電気機器	24.0%
2	化学	8.6%
3	情報・通信業	8.1%
4	卸売業	6.5%
5	機械	5.4%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄（2023.3末現在）

	銘柄名	業種	構成比
1	キーエンス	電気機器	4.5%
2	ソニーグループ	電気機器	3.8%
3	ミスミグループ本社	卸売業	2.9%
4	東京エレクトロン	電気機器	2.6%
5	伊藤忠商事	卸売業	2.5%
6	信越化学工業	化学	2.5%
7	オリエンタルランド	サービス業	2.4%
8	三井ハイテック	電気機器	2.3%
9	村田製作所	電気機器	2.3%
10	日立製作所	電気機器	2.2%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合　（銘柄数　167）

【運用会社による投資信託へのコメント】（2023.3末現在）

当月の東京株式市場は、米銀の破綻を発端とした金融不安から中旬に急落する場面もありましたが、月末にかけては値を戻し、月間では3か月連続の上昇となりました。

市場予想を上回る経済指標や全国人民代表大会の開催を背景とした中国景気の回復期待のほか、円安が支援材料となり、上旬の株価は大きく上昇しました。その後は米銀の相次ぐ経営破綻に端を発した金融不安が欧州にも飛び火し、世界的にリスク回避の売りが広がる中、株価は急落を余儀なくされました。ただし経営不安が高まったスイス金融大手のクレディ・スイス・グループについて同最大手のUBSが買収することで合意したほか、金融システム不安の防止に向けた金融当局の対策などが支えとなり、株価は徐々に落ち着きを取り戻しました。下旬は欧米の金融不安が後退する中で、3月期決算企業の配当取りなどを意識した買いが入ったほか、上場企業に対して資本コストや株価を意識した経営をするよう東証が要請したことを好感する動きなどから急速に下値を切り上げ、日経平均株価は28,000円台を回復して月を終えました。

月間の騰落率は、TOPIX（配当込）が＋1.70%、日経平均株価は＋2.17%でした。

・当資料は、Newアセットチョイス（変額保険（終身型・有期型））の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・Newアセットチョイス（変額保険（終身型・有期型））は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

日本株式型小型株（2023年3月末現在）

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2000年12月18日
【資産分類】日本株式
【運用方針】
日本の小型株式を中心に、将来高い成長が期待できる銘柄を厳選して分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。
【投資対象となる投資信託】
フィデリティ・日本小型株・ファンドVA３

■特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：百万円）

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	4	0.1%
有価証券等 フィデリティ・日本小型株・ファンドVA3	4,058	99.9%
その他	－	－
資産合計	4,063	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	4,063	100.0%

■ユニットプライスの推移

	ユニットプライス	前月比
2020年 3月31日	158.11	－
2022年 3月31日	224.03	4.49%
4月30日	202.30	−9.70%
5月31日	202.96	0.32%
6月30日	194.46	−4.19%
7月31日	203.93	4.87%
8月31日	209.54	2.75%
9月30日	201.53	−3.82%
10月31日	206.89	2.66%
11月30日	217.04	4.91%
12月31日	199.99	−7.85%
2023年 1月31日	212.05	6.03%
2月28日	212.50	0.21%
3月31日	218.42	2.78%
3ヶ月変化率		9.21%
6ヶ月変化率		8.38%
1年変化率		−2.51%
3年変化率		38.14%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

フィデリティ・日本小型株・ファンドVA３（適格機関投資家専用）の基本情報

【運用会社】フィデリティ投信
【運用対象】日本株式
【ベンチマーク】ラッセル野村・ミッドスモールキャップ・インデックス（配当金込）

運用状況

■市場別構成比（2023.3末現在）

市場	構成比
東証プライム	83.1%
東証スタンダード	9.8%
東証グロース	5.7%
その他市場	0.0%
現金・その他	1.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■上位5業種構成比（2023.3末現在）

	業種	構成比
1	電気機器	15.1%
2	化学	11.6%
3	情報・通信業	11.2%
4	機械	11.1%
5	サービス業	9.4%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄（2023.3末現在）

	銘柄名	業種	構成比
1	ミスミグループ本社	卸売業	4.7%
2	三井ハイテック	電気機器	4.0%
3	ローツェ	機械	3.9%
4	ハーモニック・ドライブ・システムズ	機械	3.4%
5	日油	化学	3.0%
6	良品計画	小売業	3.0%
7	理研計器	精密機器	2.9%
8	大阪ソーダ	化学	2.9%
9	関西ペイント	化学	2.5%
10	デサント	繊維製品	2.4%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合　（銘柄数　97）

【運用会社による投資信託へのコメント】（2023.3末現在）

当月の東京株式市場は、米銀の破綻を発端とした金融不安から中旬に急落する場面もありましたが、月末にかけては値を戻し、月間では3か月連続の上昇となりました。市場予想を上回る経済指標や全国人民代表大会の開催を背景とした中国景気の回復期待のほか、円安が支援材料となり、上旬の株価は大きく上昇しました。その後は米銀の相次ぐ経営破綻に端を発した金融不安が欧州にも飛び火し、世界的にリスク回避の売りが広がる中、株価は急落を余儀なくされました。ただし経営不安が高まったスイス金融大手のクレディ・スイス・グループについて同最大手のUBSが買収することで合意したほか、金融システム不安の防止に向けた金融当局の対策などが支えとなり、株価は徐々に落ち着きを取り戻しました。下旬は欧米の金融不安が後退する中で、3月期決算企業の配当取りなどを意識した買いが入ったほか、上場企業に対して資本コストや株価を意識した経営をするよう東証が要請したことを好感する動きなどから急速に下値を切り上げ、日経平均株価は28,000円台を回復して月を終えました。

月間の騰落率は、TOPIX（配当込）が＋1.70%、日経平均株価は＋2.17%でした。

Russell/Nomura Mid-Small Capインデックス（配当込）が＋1.36%、東証マザーズ指数は＋0.10%となり、中小型株は上昇したものの、大型株に対しては劣後しました。

・当資料は、Newアセットチョイス（変額保険（終身型・有期型））の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・Newアセットチョイス（変額保険（終身型・有期型））は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

日本株式型（2023年3月末現在）

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】1996年11月1日
【資産分類】日本株式
【運用方針】
日経225インデックスに連動する運用成果を目指した、わかりやすい投資を基本とするパッシブ運用を行います。
【投資対象となる投資信託】
株式インデックス225

■特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：百万円）

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	110	1.2%
有価証券等		
株式インデックス225	8,913	98.8%
その他	－	－
資産合計	9,023	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	9,023	100.0%

■ユニットプライスの推移

	ユニットプライス	前月比
2020年 3月31日	112.14	－
2022年 3月31日	166.92	6.57%
4月30日	157.16	−5.85%
5月31日	162.93	3.67%
6月30日	159.62	−2.03%
7月31日	165.54	3.71%
8月31日	167.74	1.33%
9月30日	158.50	−5.51%
10月31日	162.42	2.48%
11月30日	167.85	3.34%
12月31日	156.42	−6.81%
2023年 1月31日	164.33	5.05%
2月28日	164.26	−0.04%
3月31日	167.79	2.15%
3ヶ月変化率		7.27%
6ヶ月変化率		5.86%
1年変化率		0.52%
3年変化率		49.62%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

株式インデックス225の基本情報

【運用会社】野村アセットマネジメント
【運用対象】国内上場株式
【ベンチマーク】日経平均株価（日経225*）＊：©日本経済新聞社

運用状況

■資産・市場別構成比（2023.3末現在）

資産・市場	構成比
株式	96.4%
東証プライム	96.4%
東証スタンダード	－
東証グロース	－
その他	－
株式先物	3.5%
株式実質	99.9%

※株式実質は株式に株式先物を加えた比率です。
※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

■業種別内訳（2023.3末現在）

業種	構成比
電気機器	23.6%
小売業	11.7%
情報・通信業	10.1%
化学	7.0%
医薬品	6.9%
その他の業種	37.0%
その他の資産	3.6%
合計	100.0%

※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄（2023.3末現在）

	銘柄	業種	市場	構成比
1	ファーストリテイリング	小売業	東証プライム	10.1%
2	東京エレクトロン	電気機器	東証プライム	5.6%
3	ソフトバンクグループ	情報・通信業	東証プライム	3.6%
4	ＫＤＤＩ	情報・通信業	東証プライム	2.9%
5	アドバンテスト	電気機器	東証プライム	2.8%
6	ファナック	電気機器	東証プライム	2.8%
7	ダイキン工業	機械	東証プライム	2.8%
8	信越化学工業	化学	東証プライム	2.5%
9	第一三共	医薬品	東証プライム	1.7%
10	テルモ	精密機器	東証プライム	1.7%
	合計			36.4%

※業種は東証33業種分類による。
※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合
（銘柄数　225）

・当資料は、Newアセットチョイス（変額保険（終身型・有期型））の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・Newアセットチョイス（変額保険（終身型・有期型））は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

欧州株式型（2023年3月末現在）

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2000年12月18日
【資産分類】外国株式
【運用方針】
欧州株式を中心に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。
原則として為替ヘッジを行いません。
【投資対象となる投資信託】
Jupiter European Growth

■特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：百万円）

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	10	0.3%
有価証券等		
Jupiter European Growth	3,140	99.7%
その他	－	－
資産合計	3,150	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	3,150	100.0%

■ユニットプライスの推移

	ユニットプライス	前月比
2020年 3月31日	102.46	－
2022年 3月31日	189.93	7.29%
4月30日	183.76	−3.25%
5月31日	191.46	4.19%
6月30日	182.05	−4.91%
7月31日	184.02	1.08%
8月31日	183.42	−0.32%
9月30日	170.90	−6.82%
10月31日	186.94	9.38%
11月30日	195.41	4.53%
12月31日	184.63	−5.52%
2023年 1月31日	195.84	6.07%
2月28日	208.78	6.60%
3月31日	209.37	0.28%

3ヶ月変化率	13.39%
6ヶ月変化率	22.51%
1年変化率	10.23%
3年変化率	104.34%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

Jupiter European Growth の基本情報

【運用会社】Jupiter Asset Management Limited
【運用対象】欧州株式
【ベンチマーク】FTSE World Europe Index

運用状況

■国別内訳（2023.3末現在）

国名	ポートフォリオ構成比
フランス	27.0%
オランダ	22.6%
スイス	9.9%
デンマーク	7.8%
イギリス	7.8%
イタリア	7.1%
スペイン	5.8%
スウェーデン	5.5%
ドイツ	2.7%
アイルランド	2.4%
その他	0.6%

※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

■上位業種構成比（2023.3末現在）

業種	構成比
資本財・サービス	25.3%
一般消費財・サービス	24.2%
情報技術	14.5%
ヘルスケア	12.8%
金融	8.8%
生活必需品	7.4%
素材	6.2%

※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄（2023.3末現在）

	銘柄名	構成比
1	Relx Plc	6.7%
2	Novo Nordisk Class B	6.4%
3	Lvmh	5.7%
4	Amadeus IT Group SA	5.5%
5	Pernod Ricard SA	5.3%
6	Asml Holding Nv	5.0%
7	Edenred	4.9%
8	Dassault Systemes	4.0%
9	Wolters Kluwer Nv	3.7%
10	Finecobank Banca Fineco	3.4%

※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

「Merian European Equity Fund」の償還により、2022年12月5日付で、投資対象となる投資信託を「Jupiter European Growth」に変更いたしました。この変更に伴う特別勘定の運用方針の変更はございません。
なお、詳細につきましては、弊社ホームページ（https://fl.tmn-anshin.co.jp/）に掲載の「特別勘定のしおり 追補版」をご高覧ください。

・当資料は、Newアセットチョイス（変額保険（終身型・有期型））の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・Newアセットチョイス（変額保険（終身型・有期型））は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

米国株式型（2023年3月末現在）

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2000年12月18日
【資産分類】外国株式
【運用方針】
米国の成長株を中心に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。原則として為替ヘッジを行いません。
【投資対象となる投資信託】
Jupiter Merian North American Equity Fund（IRL）

■特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：百万円）

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	27	0.4%
有価証券等		
Jupiter Merian North American Equity Fund（IRL）	7,255	99.6%
その他	－	－
資産合計	7,283	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	7,283	100.0%

■ユニットプライスの推移

	ユニットプライス	前月比
2020年 3月31日	146.49	－
2022年 3月31日	308.31	14.59%
4月30日	294.35	−4.53%
5月31日	287.77	−2.23%
6月30日	290.53	0.96%
7月31日	302.20	4.02%
8月31日	311.26	3.00%
9月30日	292.95	−5.88%
10月31日	310.28	5.91%
11月30日	304.90	−1.73%
12月31日	279.08	−8.47%
2023年 1月31日	296.48	6.24%
2月28日	305.36	2.99%
3月31日	299.66	−1.87%

3ヶ月変化率	7.37%
6ヶ月変化率	2.29%
1年変化率	−2.81%
3年変化率	104.55%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

Jupiter Merian North American Equity Fund（IRL）の基本情報

【投資顧問会社】Jupiter Investment Management Limited
【運用対象】米国株式
【ベンチマーク】MSCI North America

運用状況

■上位業種構成比（2023.3末現在）

業種	構成比
情報技術	33.0%
ヘルスケア	15.4%
コミュニケーション・サービス	10.2%
資本財・サービス	10.1%
公益事業	7.6%
金融	7.5%
一般消費財・サービス	6.5%
エネルギー	2.4%
不動産	2.1%
素材	2.0%
生活必需品	1.8%
その他	1.5%

※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄（2023.3末現在）

	銘柄名	構成比		銘柄名	構成比
1	APPLE INC.	5.5%	6	UNITEDHEALTH GROUP	1.7%
2	MICROSOFT CORPORATION	3.8%	7	ADOBE INCORPORATED	1.6%
3	ALPHABET INC. CLASS A	2.5%	8	NETFLIX, INC.	1.5%
4	VISA INC. CLASS A	2.0%	9	CADENCE DESIGN SYSTEMS, INC.	1.4%
5	MASTERCARD INCORPORATED	1.8%	10	TEXAS INSTRUMENTS INC.	1.4%

※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

・当資料は、Newアセットチョイス（変額保険（終身型・有期型））の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・Newアセットチョイス（変額保険（終身型・有期型））は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

グローバル・バランス型（2023年3月末現在）

特別勘定について

基本情報

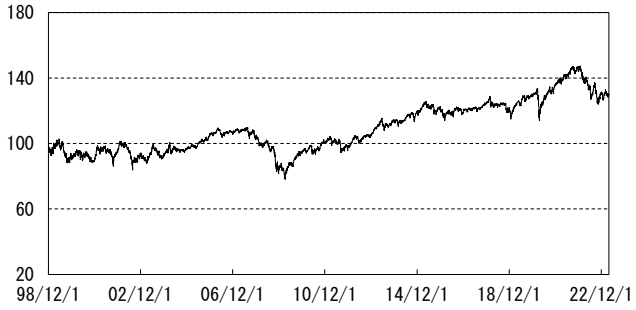
【特別勘定の設定日】1998年12月1日
【資産分類】バランス
【運用方針】
日本を含む世界の株式、債券、円短期金融商品を主要投資対象とし、独自の計量モデルによるアクティブ運用を行い、長期的に安定した運用成果を目指します。原則として、為替ヘッジを行います。
【投資対象となる投資信託】
ダ・ヴィンチVA

■特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：百万円）

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	10	0.5%
有価証券等		
ダ・ヴィンチVA	2,177	99.5%
その他	－	－
資産合計	2,187	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	2,187	100.0%

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2020年 3月31日	119.38	－
2022年 3月31日	140.52	2.01%
4月30日	135.70	−3.43%
5月31日	135.59	−0.08%
6月30日	128.94	−4.90%
7月31日	133.33	3.40%
8月31日	132.35	−0.74%
9月30日	126.24	−4.62%
10月31日	128.08	1.46%
11月30日	130.34	1.77%
12月31日	126.41	−3.01%
2023年 1月31日	131.33	3.89%
2月28日	129.32	−1.53%
3月31日	130.40	0.83%
3ヶ月変化率		3.15%
6ヶ月変化率		3.30%
1年変化率		−7.21%
3年変化率		9.22%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

ダ・ヴィンチVAの基本情報

【運用会社】ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
【運用対象】日本を含む世界各国の株式・債券および円短期金融商品を主要投資対象とします。（株式先物・債券先物取引等を含みます。）
【ベンチマーク】MSCIワールド･インデックス40%＋JPモルガン･ガバメントボンド･インデックス（グローバル）40%（ともに100%為替円ヘッジ、円ベース）＋日本円1か月TIBOR20%

運用状況

■資産構成（2023.3末現在）

	構成比
世界株式	43.0%
世界債券	34.5%
円短期金融商品	22.6%
合計	100.0%

【運用会社による投資信託へのコメント】（2023.3末現在）

＜資産クラス間配分＞
資産クラス間配分では、世界株式はモメンタムの観点で評価が高いことから、円短期金融商品に対して強気の見通しとしている。世界債券はモメンタムの観点で評価が高いことから、円短期金融商品に対して強気の見通しとしている。大型株／小型株の配分に関しては、大型株に対してやや強気の見通しとしている。大型株はモメンタムの観点で評価が高いことからやや強気の見通しとしている。一般優良株／テクノロジー株間の配分に関しては、モメンタムの観点からテクノロジー株に対して強気の見通しとしている。
＜株式国別配分＞
株式国別配分においては、フランスや日本に対して強気の見通しとする一方で、アメリカや香港に対して弱気の見通しとしている。フランスに対しては、リスク・プレミアムの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。日本に対しては、バリューの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、アメリカに対しては、バリューおよびモメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。香港に対しては、マクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。
＜債券国別配分＞
債券国別配分においては、イタリアやアメリカに対して強気の見通しとする一方で、カナダやドイツに対して弱気の見通しとしている。イタリアに対しては、モメンタムの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。アメリカに対しては、バリューの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、カナダに対しては、バリューおよびモメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。ドイツに対しては、マクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。
＜通貨配分＞
通貨配分においては、アメリカやユーロ圏に対して強気の見通しとする一方で、イギリスやカナダに対して弱気の見通しとしている。アメリカに対しては、マクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。ユーロ圏に対しては、マクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、イギリスに対しては、バリューおよびマクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。カナダに対しては、マクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

・当資料は、Newアセットチョイス（変額保険（終身型・有期型））の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・Newアセットチョイス（変額保険（終身型・有期型））は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

世界債券型（2023年3月末現在）

特別勘定について

基本情報

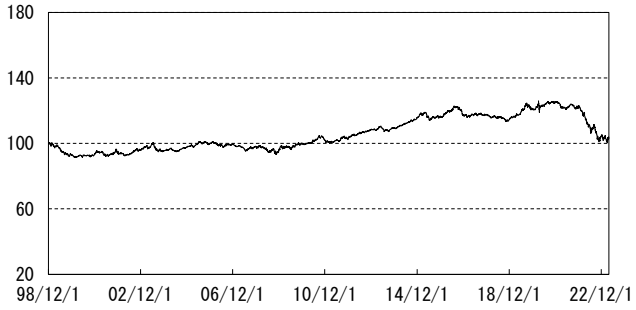
【特別勘定の設定日】1998年12月1日
【資産分類】世界債券
【運用方針】
日本を含む世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。投資する公社債は、取得時において投資適格または同等の信用力を有するものとします。原則として為替ヘッジは行い、為替変動リスクの低減を図ります。
【投資対象となる投資信託】
JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）

■特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：百万円）

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	30	0.9%
有価証券等 JDFワールド・ボンド・ファンド （為替ヘッジあり）	3,586	99.1%
その他	－	－
資産合計	3,617	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	3,617	100.0%

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2020年 3月31日	122.54	－
2022年 3月31日	114.40	−2.32%
4月30日	112.40	−1.75%
5月31日	111.18	−1.09%
6月30日	107.42	−3.38%
7月31日	110.36	2.73%
8月31日	107.79	−2.33%
9月30日	103.60	−3.88%
10月31日	103.26	−0.33%
11月30日	104.11	0.82%
12月31日	101.92	−2.11%
2023年 1月31日	103.60	1.65%
2月28日	101.35	−2.17%
3月31日	102.95	1.58%

3ヶ月変化率	1.01%
6ヶ月変化率	−0.63%
1年変化率	−10.01%
3年変化率	−15.99%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）の基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン
【運用対象】日本を含む世界主要国の信用力の高い公社債
【ベンチマーク】FTSE世界国債インデックス（円ヘッジ　円ベース）

運用状況

■国別通貨別構成比率（2023.3末現在）

	ベンチマーク	債券	通貨
米国	42.7%	53.8%	1.0%
カナダ	1.8%	1.7%	0.1%
メキシコ	0.8%	1.7%	0.1%
日本	13.6%	14.7%	98.0%
オーストラリア	1.4%	1.5%	0.1%
ニュージーランド	0.2%	－%	－%
シンガポール	0.4%	0.5%	0.0%
中国	4.3%	3.8%	0.1%
マレーシア	0.5%	－%	－%
ユーロ	28.8%	28.9%	0.5%
英国	4.2%	7.0%	0.1%
デンマーク	0.3%	0.4%	0.0%
スウェーデン	0.2%	0.3%	0.0%
ポーランド	0.4%	0.5%	0.1%
ノルウェー	0.1%	0.2%	0.0%
イスラエル	0.3%	－%	－%
国際機関	－%	1.1%	－%
キャッシュ等		−16.0%	
合計	100.0%	100.0%	100.0%

※ベンチマークは FTSE 世界国債インデックス 2023 年 4 月の構成比率
※債券は発行国ベース、債券先物と金利先物（先物の売建てはマイナス表示）を含みます
※通貨は実質為替組入比率
※比率は対純資産総額、マザーファンドベース

■組入上位10銘柄（2023.3末現在）

	銘柄名	利率	償還年月日	構成比
1	アメリカ国債	0.125	2023/8/31	7.8%
2	アメリカ国債	2.500	2024/5/31	3.9%
3	アメリカ国債	2.500	2027/3/31	2.6%
4	アメリカ国債	0.500	2023/11/30	2.6%
5	アメリカ国債	0.500	2027/8/31	1.9%
6	アメリカ国債	1.250	2024/8/31	1.8%
7	アメリカ国債	4.250	2024/9/30	1.7%
8	イタリア国債	1.600	2026/6/1	1.5%
9	日本国債	1.800	2031/9/20	1.5%
10	フランス国債	1.000	2027/5/25	1.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合
（銘柄数　299）

修正デュレーション＝平均7.55年（ベンチマーク＝同7.54年）

・当資料は、Newアセットチョイス（変額保険（終身型・有期型））の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・Newアセットチョイス（変額保険（終身型・有期型））は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

米国債券型（2023年3月末現在）

特別勘定について

基本情報

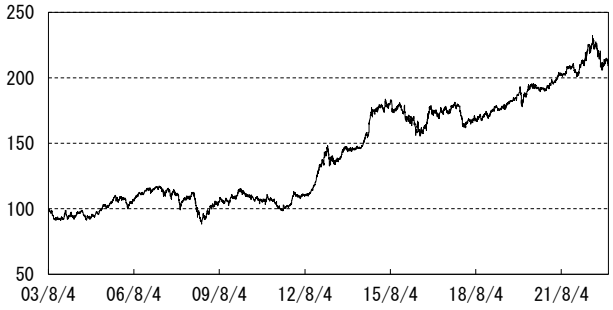
【特別勘定の設定日】2003年8月4日
【資産分類】外国債券
【運用方針】
米国の公社債、モーゲージ証券、資産担保証券等に分散投資を行い、元本の安全性に配慮しながら、慎重な資産運用の下に、トータル・リターンの拡大を目指します。原則として為替ヘッジを行いません。
【投資対象となる投資信託】
Janus Henderson Flexible Income Fund

■特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：百万円）

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	39	1.5%
有価証券等		
Janus Henderson Flexible Income Fund	2,532	98.5%
その他	－	－
資産合計	2,571	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	2,571	100.0%

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2020年 3月31日	183.30	－
2022年 3月31日	208.76	3.15%
4月30日	213.11	2.08%
5月31日	212.69	−0.20%
6月30日	220.36	3.61%
7月31日	223.32	1.35%
8月31日	225.07	0.78%
9月30日	224.15	−0.41%
10月31日	226.23	0.93%
11月30日	216.95	−4.10%
12月31日	208.42	−3.93%
2023年 1月31日	210.30	0.90%
2月28日	214.51	2.00%
3月31日	213.85	−0.31%

3ヶ月変化率	2.61%
6ヶ月変化率	−4.59%
1年変化率	2.44%
3年変化率	16.67%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

Janus Henderson Flexible Income Fund の基本情報

【投資顧問会社】Janus Henderson Investors US LLC
【運用対象】米国債券
【ベンチマーク】Bloomberg Barclays US Aggregate Bond Index

運用状況

■資産別構成比（2023.3末現在）

資産クラス	構成比
モーゲージ債	32.2%
国債	26.8%
投資適格債	19.1%
不動産抵当証券担保証券	8.0%
商業用不動産担保証券	6.8%
ローン担保証券	2.1%
資産担保証券	1.2%
ハイイールド社債	0.9%
バンクローン	0.5%
現金および現金等価物	2.3%

※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

■格付別構成比（2023.3末現在）

格付	構成比
Aaa	69.5%
Aa	0.6%
A	6.7%
Baa	16.9%
Ba	2.5%
B	1.0%
格付無し	0.6%
株式	－
現金および現金等価物	2.3%

※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄（2023.3末現在）

	銘柄名	構成比
1	United States Treasury Note/Bond 4.63 03/15/2026	4.6%
2	United States Treasury Note/Bond 4.00 11/15/2052	3.7%
3	United States Treasury Note/Bond 3.50 02/15/2033	3.6%
4	United States Treasury Note/Bond 3.88 02/15/2043	3.5%
5	United States Treasury Note/Bond 4.00 11/15/2042	3.3%
6	United States Treasury Note/Bond 4.00 02/29/2028	2.8%
7	Fannie Mae Pool 3.00 12/01/2051	2.0%
8	United States Treasury Note/Bond 3.63 03/31/2028	1.9%
9	Ginnie Mae II Pool 2.50 04/20/2023	1.8%
10	United States Treasury Note/Bond 3.50 01/31/2028	1.6%

※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

・当資料は、Newアセットチョイス（変額保険（終身型・有期型））の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・Newアセットチョイス（変額保険（終身型・有期型））は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

金融市場型（2023年3月末現在）

特別勘定について

基本情報

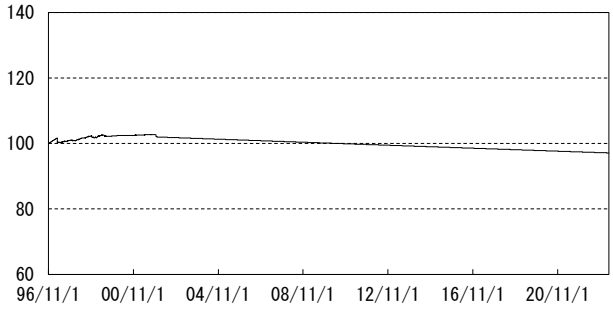
【特別勘定の設定日】1996年11月1日
【資産分類】短期金融商品
【運用方針】
円建ての預貯金、短期金融商品を中心に投資を行います。流動性に十分配慮し、リスクを抑えた安定的な運用を行います。
【投資対象】
短期金融商品

■特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：百万円）

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	1,501	100.0%
有価証券等	—	—
その他	—	—
資産合計	1,501	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	1,501	100.0%

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2020年 3月31日	97.78	—
2022年 3月31日	97.33	−0.02%
4月30日	97.32	−0.02%
5月31日	97.30	−0.02%
6月30日	97.28	−0.02%
7月31日	97.26	−0.02%
8月31日	97.24	−0.02%
9月30日	97.22	−0.02%
10月31日	97.20	−0.02%
11月30日	97.18	−0.02%
12月31日	97.17	−0.02%
2023年 1月31日	97.15	−0.02%
2月28日	97.13	−0.02%
3月31日	97.11	−0.02%
3ヶ月変化率		−0.06%
6ヶ月変化率		−0.11%
1年変化率		−0.23%
3年変化率		−0.69%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

短期金融商品ファンドの基本情報

【運用会社】特に定めません。
【運用対象】短期金融商品
【ベンチマーク】特に定めません。

・当資料は、Newアセットチョイス（変額保険（終身型・有期型））の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・Newアセットチョイス（変額保険（終身型・有期型））は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

投資リスクについて

この商品は、将来受け取る死亡保険金額、満期保険金額、解約払戻金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険です。特別勘定は投資信託を通じて国内外の株式・債券等に投資されますので、この商品には価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・金利変動リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、満期保険金、解約払戻金等のお受け取り金額が、お支払いいただいた保険料の合計額を下回る可能性があります。

ご負担いただく費用について

■保険期間中に必ずご負担いただく費用

項　目	費　用
保険関係費用	保険契約の締結・維持に必要な費用、死亡・高度障害保険金を支払うための危険保険料、基本保険金額を最低保証するための費用 ※契約年齢等により契約ごとに異なるため、費用の合計額や上限額を表示することができません。
資産運用関係費用*	投資信託の純資産総額に対して上限年率1.50%程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.3の「特別勘定の内容」をご覧ください。
特別勘定運営費用	特別勘定の純資産総額に対して年率0.2%

＊資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

■特定の取引の場合にご負担いただく費用

項　目	内　容	費　用
貸付利息	契約者貸付を受けたとき	貸付金額に対して…年率4%

■契約日から10年以内、かつ保険料払込期間中に解約・減額された場合、解約日の積立金額から経過年数に応じた所定の金額（解約控除）を控除した金額が解約払戻金額となります。

※上記期間経過後は、積立金額と解約払戻金額は同額となります。
※保険料払込方法が一時払の場合は、解約控除は発生しません。

ご注意いただきたい事項

- 「Newアセットチョイス（変額保険（終身型・有期型））」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険（変額保険）です。
- 「Newアセットチョイス（変額保険（終身型・有期型））」には投資リスクがあり、投資リスクはご契約者に帰属します。場合によっては将来お受け取りになる金額が、払込保険料総額を下回る可能性があります。

【募集代理店】	【引受保険会社】
	東京海上日動あんしん生命保険株式会社 ホームページ https://www.tmn-anshin.co.jp/ ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ 0120-155-730 受付時間　平日9：00～17：00 （土曜・日曜・祝日・年末年始を除きます。）